

今年度も終わりに近づき、乳腺外科のこの1年を振り返ると、おかげさまで多数の患者さんに受診いただけるようになり、ほっとするとともに気が引き締まる思いでいっぱいです。ぽつぽつと男性の患者さんも来られるようになり、「乳房のことは乳腺外来へ」とみなさまに思っていただけるようになったのであればとても嬉しく思います。半面、12月号にも書かせていただきましたが、来院患者さん増加に伴って、待ち時間が長くなり、また当日の検査ができない場合もあり、ご迷惑をお掛けして申し訳ありません。年度の締めくくりとして、今年度の検診についてのお知らせをさせていただこうと思います。

1. 西脇市の乳がん検診報告用紙について

最近、「高濃度乳腺」という言葉を、新聞やインターネットで目にするようになりました。2016年8月号の乳腺外科トピックスで高濃度乳腺について書かせていただきました(http://nshp.jp/modules/shinsatsu/index.php?content_id=55)。高濃度乳腺とは、マンモグラフィで撮影時、乳腺が厚いために真っ白に写るものをいいます。乳がんもほとんどがマンモグラフィで白く写るため、高濃度乳腺の場合マンモグラフィで乳がんを見つけにくくなります。よくいわれるたとえですが、雪山で白うさぎを見つけるようなものだからです。加齢とともに、乳腺組織は脂肪に置き換わっていき、雪山の雪が解けて地面が現れるように、マンモグラフィは黒っぽくなっていき、乳がんをみつけやすくなります。乳がん検診を受けた時に、ご自分の乳腺がマンモグラフィでどのように写ったかの評価は重要です。この評価は、ひとことでいうならば、病変が正常乳腺に隠されてしまう危険性の程度を示し、乳房の病変の見つけやすい順に以下の4つに分類されます。

- 1) 脂肪性：乳房がほぼすべて脂肪に置き換えられており、病変の検出は容易である。
- 2) 乳腺散在：脂肪に置き換えられた乳房内に乳腺実質が散在し、病変の検出は比較的容易である。
- 3) 不均一高濃度：乳腺実質内に脂肪が混在して不均一となっており、病変を見つけにくい危険性がある。
- 4) 高濃度：乳腺実質に脂肪の混入はほとんどなく（いわゆる **dense breast**）、病変を見つけることが困難である。

「高濃度乳腺」ということばがマスコミに取りあげられているのは、まだまだ乳腺の評価、つまりマンモグラフィで乳がんをみつけにくい乳腺かどうかを検診受検者に周知されていないことが多いためでしょう。

当院の乳がん検診（町ぐるみ検診および人間ドック）では、以前から高濃度乳腺で読影が困難な方にはその旨お知らせし、念のために超音波検査をお勧めしてきました。お気づきの方もおられるかと思いますが、昨年秋ごろより、西脇市の乳がん検診の報告書の書式を西脇

市役所くらし安心部健康課と相談して、乳腺の評価を追加し、受検者に乳腺濃度をお知らせする様式に変更いたしました。結果を受け取られましたら、カテゴリー分類や精査の有無のみでなく、ぜひご自分の乳腺の評価もご確認ください。前述の4つの分類（脂肪性、乳腺散在、不均一高濃度、高濃度）で左右別に示しています。不均一高濃度や、高濃度と記載のあった場合には、マンモグラフィ検診のみでなく、エコー検査も受けていただけるとさらに乳がんの早期発見につながります（2015年12月号も参照なさってください）。カテゴリー分類についてよくご質問をいただきますので、下記に簡単に説明しています。カテゴリー3以上が要精査となります。

カテゴリー1 異常なし：異常所見はない。

カテゴリー2 良性：明らかに良性と診断できる所見がある。

カテゴリー3 良性、しかし悪性を否定できず：良性の可能性が非常に高いが、悪性も否定できない。エコー検査等の追加検査が必要である。

カテゴリー4 悪性の疑い：悪性の可能性が高く、生検等も含めた精査が必要である。

カテゴリー5 悪性：ほぼ乳がんと考えられる（乳がんと確定診断には生検が必要である）。

- ❖ 参考までに、新しい乳がん検診報告用紙「マンモグラフィ併用乳がん検診受診票」を下記に添付しています。

2. しこりに気づいていらっしゃる方へ

日本人女性の生涯の乳がん罹患率は11人に1人に増えました。

しこりを自覚されてから時間が経ち、しこりが大きくなってきて、心配だが病院になかなか行きづらいと思っておられる方はきっと少なくないと思います。ご自分で、もう手遅れと思われて、さらに病院に行きづらいという場合もあることでしょう。多くの場合、ご自分で思っておられるよりも病状が軽いことが多く、また治療方法もたくさんあります。どうか、少しだけ勇気を出して、診察にいらしてください。

〒	西脇市	町	番地
フリガナ			
様			

・太枠内をボールペンで強くお書きください。
 ・結果のお知らせに使うため、住所は正確に記入ください。

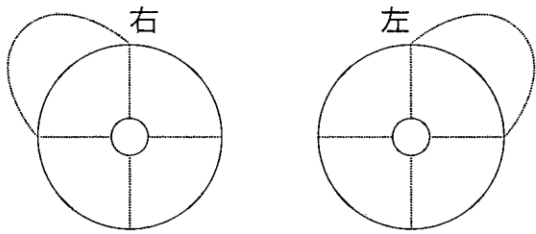
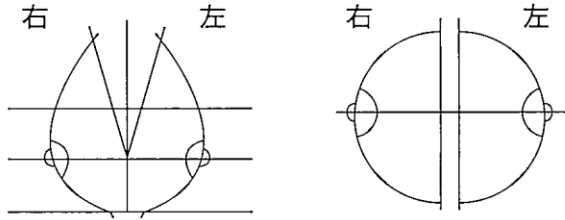
大・昭	年	月	日生(満	歳)
電話番号				

マンモグラフィ併用乳がん検診受診票

【問診】

自覚症状	右	左	既往歴	乳腺疾患	無・有(右・左)(歳) (病名 乳がん)
痛み	無・有(年)	無・有(年)		乳房生検	無・有(右・左)(歳)
しこり	無・有(年)	無・有(年)		乳房の手術	無・有(右・左)(歳)
乳頭	変形	無・有(年)		他の病気	無・有(部位)
	異常分泌	無・有(年)		人工物の留置	無・有() (例:ペースメーカー・VPシャント等)
月経	最終月経 月 日~ 月 日			ホルモン剤使用	無・有
	順・不順 閉経(歳)			豊胸術	無・有
出産・妊娠	有(回)・無・妊娠中・妊娠の可能性あり			乳がん検診歴	無・有(年)精密検査時の結果()
母乳での授乳歴	有・無・現在授乳中			自己検診	毎月・時々・していない
家族歴	乳がん	無・有(続柄)			
	他のがん	無・有(続柄・病名)			

【一次検診結果】

検診日	平成 年 月 日			
視触診所見		マンモグラフィ所見		
				
乳腺の評価	右	脂肪性	乳腺散在	不均一高濃度 高濃度
	左	脂肪性	乳腺散在	不均一高濃度 高濃度
カテゴリー				
		【右】 I II III IV V		【左】 I II III IV V
総合判定	1. 異常なし 2. 判定不能(再撮影・不適) 3. 要経過観察(か月後) 4. 要精密検査			
医療機関	西脇市立西脇病院		医師名	
自己負担区分	40~49歳	50歳以上	免除者	無料クーポン券対象者